



学校だより

令和3年度小川中学校

令和3年4月9日発行

NO, 1

文責：小林浩一

令和3年度がスタートしました

新入生13名（全校生徒46名）、新たに山崎伸一校長先生をお迎えし、（新任職員5名、全職員16名）総勢62名で今年度の小川中学校がスタートしました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、進級された3年生、2年生の皆さん、進級おめでとうございます。小川中学校職員一同、校訓「勇猛精進」を精神的な支えとし、教育目標「つよく、やさしく、思慮深く」の姿を実現するために、精一杯努めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

令和3年度 小川中学校 教育目標と重点目標

～多様性を認める心を育む小川中～

〔学校教育目標〕

『つよく、やさしく、思慮深く』

〔目指す生徒の姿〕

『つよく』…強い意志と体もち、最後までやり抜く中学生

『やさしく』…思いやりのある心豊かな中学生

『思慮深く』…自己をみつめ正しい判断と行動のできる中学生

〔令和3年度の重点〕

①「自己を見つめる生活」

②「確かな学力」

③「人権学習の充実」

【校訓】

「勇猛精進」～強い意志によって、油断なく心を集中して一心に進む～

<入学式 学校長式辞>



たった今、教頭先生から新入生一人一人、名前が呼ばれました。そして、それに答えて「はい」という返事をする皆さんの凜々しい表情から、中学校生活にかける意気込みを感じました。

この次、今日のような形で、この体育館の中で一人一人の名前が呼ばれるのは、三年後の卒業証書授与式の時です。三年後、どれだけ成長した姿で皆さんが名前を呼ばれるのか、とても楽しみです。

改めまして、十三名の新入生の皆さん、小川中学校への入学おめでとうございます。本日は皆さんの入学をお祝いするために、小川村 村長 染野隆嗣様をはじめご来賓の皆様のご臨席いただき、また新入生保護者の皆様もご列席のもと、このように入学式を挙行することができました。新型コロナウイルスの感染拡大が止まず、社会情勢が不安定な中、この入学式挙行に向けてご尽力くださった全ての皆様に、新入生と共に心から感謝申し上げます。昨年の入学式には、新型コロナウイルス感染予防のため、在校生の同席は出来ませんでした。今年は、二年生・三年生の三十三名、職員十五名も同席し、皆さんの入学を心からお祝いしています。

皆さんの入学を祝うかのように、このよき日に合わせるかのように、校庭の桜も咲き始めています。さらに、小川の山に咲く山桜も、緑の中に桜のピンク色が映え、生命の息吹を感じる頃となりました。

さて、みなさんの入学にあたって私から言葉を一つ送ります。それは、「初志貫徹」という言葉です。最初に心に誓い決めた事（目標）を、最後まで貫き通すといった意味です。皆さん一人一人の心の中には、中学校で頑張りたいことやこうなりたいと願う自分の姿があると思います。この気持ちを、三年間持ち続け、粘り強く努力して行って欲しいということです。

4月4日の競泳・日本選手権 女子100メートルバタフライを57秒77で制し、400メートルメドレーリレーの選考基準を満たして五輪代表内定に決まった選手がいます。みなさんも知っていると思いますが、池江璃花子選手です。彼女は、白血病という重い病にかかりました。治療や周囲の支えもあり見事に水泳にカンバックを果たしてきました。しかし、東京オリンピックの出場は無理だろう。次のオリンピックを目指せばという周囲の予想に反し、今回、見事に東京オリンピックへの夢が叶いました。彼女の心の中には、常に「オリンピックに出たい」という強い思いがあったからだと思います。そのために、どんな困難も乗り越え、粘り強く努力してきたということが今回の結果となっています。「初志貫徹」みなさんも、今の気持ちを持ち続け、努力していきましょう。きっとこの先みなさんの目標が叶い、今よりももっと大きく成長できると思います。私は、みなさんの頑張りを見守り支えていきます。

保護者の皆様、本日はお子さんのご入学、誠におめでとうございませう。中学校の制服に身を包んだお子様の晴れ姿に喜びも一入のことと存じます。私ども小川中学校職員一同、お預かりをいたしました子どもさんの中学校生活が充実したものとなりますように精一杯励んでまいります。お気づきになられたこと、ご心配なことなど、遠慮なくご相談いただけますようお願いいたします。

終わりになりますが、ご来賓の皆様方におかれましては、公私ともご多用のところ、ご臨席を賜り、まことにありがとうございました。多くの皆様方に多方面からお力添えをいただいておりますが、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご一同様の益々のご健勝とご発展をお祈りし、式辞といたします。

令和3年4月6日

小川村立小川中学校長 山崎伸一

〈新年度の決意。新2年生の言葉〉

私が新年度一生懸命取り組みたいと思っていることは、三つあります。

一つ目は勉強です。2年生になると今までよりも内容がさらに難しくなります。昨年はテストで自分の思いどおりの結果が残せなくて、悔いがありました。それは、自分に合った勉強方法がなかなか見つからなかったからです。だから今年は自分に合った勉強方法を見つけ、そして授業にも今までよりも積極的に取り組み、テストで悔いが残らないような結果を残せるように頑張りたいです。

二つ目は部活です。今年から後輩ができるので、どのような場面でもお手本となるようなプレーを心がけていきたいです。また、6月に中体連の大会があります。三年生にとっては最後の大会になります。自分たち二年生も三年生と一緒にプレーができる最後の機会なので、チームのみんなで心をつなげて最高の大会になるようにしたいです。そして大会が終わればよいよ自分たちが後輩を引っ張っていく番となります。先輩が今まで築きあげてきた伝統をしっかり受け継いで最高のバレーボールチームをつく



るように頑張りたいです。

三つ目は清掃です。私は美化委員会に入りました。委員会を決める時、この小川中学校をきれいにしたいと思って美化委員会に入ると決めました。清掃の時は「膝つき三度がけ」を意識し、さらに、一通り掃除が終わったあとも見つけ掃除などもしっかりやり、美化委員として手本になりたいと思います。

私は、この一年間この3つの目標を達成できるように一生懸命取り組んで、楽しい学校生活を送れるようにしたいです。
(2年生代表生徒発表より)

〈新年度の決意。新3年生の言葉〉

私は去年の十二月に生徒会を引き継いでから、色々な面で目標を立てるようになりました。それまでの私は、あまり目標を立てず、先輩方やクラスメートの姿を見て、それについていただけでした。ですが、部活を引き継いで部長になり、生徒会を引き継いで委員長になったことで、後輩をリードして進むことができない、行動を変えなければならないと思ったのです。そして、部活でのゴール。生徒会でのゴールなど、どこまで進めばいいかの目標を立てるようになりました。



私の生活面での目標は、「自分から行動すること」です。先ほど述べたような、先輩や友だちなどの周りの人を見て真似るように行動する今までの自分を変え、自分でテキパキ行動するようになっていきたいです。自分で行動することは、委員会の委員長として、部の部長として、最高学年の一人としてとても重要なカギとなってくると私は思っています。

そして、その「自分から行動すること」を意識した上で、更に達成したい目標が「皆をまとめて一つにする」ということです。

吹奏楽部は今年、中条中、新町中、七二会中との四校合同で夏のコンクールに出ることになりました。ですが、毎日合同で練習できるわけではないので、他校の部員とコミュニケーションをとる時間もないと思います。なので、部長の一人として、限られた合同練習の中で、他の学校の人に自分から話しかけたりして、一つのチームとしてまとめるきっかけをつくっていきたいです。

園芸委員会でも、今年の活動方針が「一つ一つの活動を委員全体で協力して行おう」と「委員全体で花に興味を持ってもらえるような活動をしよう」なので、委員全体で一つ一つの活動をしていくために、委員長として、委員全体をまとめていきたいです。

コロナウイルスで何かと制約が多い日々が続きますが、前向きにこの目標を達成し、学校生活に貢献できるような生活をしていきたいです。
(3年生生徒代表発表より)

〈前期始業式 校長先生のお話より 4月6日(火)〉



さて、改めて、2・3年生のみなさん進級おめでとうございます。今日から新しい年度、新しい学期が始まります。先ほど、新しい先生方を紹介しました。さらに先ほどの入学式で、新しい一年生12名が入学してきました。そして、新しい仲間が一人加わります。

転校生の 田邊 凜子さん です。広島県福山市から小川村に転居してきました。

どうぞよろしくお願ひします。

新しい仲間を加え、今日から46名での学校生活がスタートとなります。そのスタートにあたり、先ほど、2名の生徒から新年度の抱負の発表がありました。明確な目標を持ち、先輩として後輩のよき手本となり、自ら行動したいとの決意がありました。小川中学校の学校目標の「つよく」「やさしく」「思慮深く」を常に意識した日々が始まるとの期待が高まります。

さて、新型コロナウイルス感染が続き、世の中では「新型コロナウイルス感染 第4波」と言われています。1年前、この未知のウイルスのことがよくわかりませんでした。しかし、時間の経過とともに、感染予防について、様々なことが分かってきました。そんな中こんな言葉がでてきました。「コロナに慣れるな、コロナを恐れるな」です。「自分は大丈夫だ」「自分の身の回りにいないから大丈夫だ」と安心しないこと、一方で、極端に恐れてもいけないということです。この言葉から、学校は、新型コロナウイルス感染予防に努めながらも、学びを止めない。一步一步前に歩み続けるように努力していくことになりました。



「努力」ということにかかわって、わたしからお願いがあります。学習の場面や学校生活の中で出会う、様々な事象について、様々なことを感じ・考えることがあります。そこで、感じ、考えたことを行動に移して欲しいということです。行動の中には、表現するということも含まれます。もっと行動し、今まで以上に自分を表現して欲しいということです。

例えば、「生徒会で、あいさつができる小川中学校にしたい」という目標が掲げられたとき、みなさん一人一人が、何を感じ、何を考えるのでしょうか、そして、次にみなさん一人一人がどんな行動を起こすのでしょうか、具体的にどんな行動ができるのでしょうか

私が、行動する（実践する）という言葉で思い出す有名な人物がいます。

プロ野球、アメリカメジャーリーグ エンゼルスの大谷翔平選手です。連日テレビで活躍が報道されています。

大谷選手といえば「二刀流」で有名ですね。打者と投手の両方で活躍する選手を目指しています。大谷選手は、岩手県の花巻東高校野球部に所属し甲子園を目指していました。大谷選手を有名にしたのは160キロの剛速球を高校生でありながら投げたことでした。日本のプロ野球選手でも160キロの球を投げる人は多くいません。

大谷選手は、高校時代 「160キロのボールを投げたい」と思い、考え、行動し、努力を重ねてきました。実は、当時の監督にマンダラチャートというものを紹介され、具体的にどんな行動をするか明確にし、努力してきました。曼荼羅チャートとはこれです。紙に9つのマスができるように線を引き、中央に「160キロのボールが投げたい」と書き、そのまわりに、具体的に何をするかを書き込み、実際にそれを実践し、160キロのボールが投げられるようになりました。

ぜひみなさんも、こうなりたいと夢や目標を思い描き、具体的に行動してみてください。自分の夢や希望がきっと近づいてくることでしょう。

一人一人の成長が、小川中学校全体の成長につながります。先生方も精一杯皆さんをサポートします。今日からともに頑張りましょう。

〈全校オリエンテーション・対面式・生徒会説明会 4月7日（水）〉



〈全校オリエンテーション〉



〈対面式〉



〈生徒会説明会〉

4月7日（水）に全校オリエンテーション、対面式、生徒会説明会が新入生を迎えて行われました。まず、全校オリエンテーションでは、生活のきまり、学習、清掃、給食、保健室の利用方法などの説明が担当の先生から行われました。

1年生はもちろんですが、2、3年生も再度確認するように真剣に説明を聞いていました。それぞれ確認されたことを意識して学校生活を送れるといいですね。

今年度初めての給食の後に、対面式、生徒会説明会が行われました。生徒会役員の掲げる花のアーチを新入生が通って入場し、生徒会長の歓迎の言葉に始まり、生徒手帳の贈呈、1年生へのエールなど暖かい雰囲気で行われました。

生徒会説明は各委員会の説明がとてもよくまとめられていて、分かりやすかったです。きっとりハーサルを何度も重ねてきてののでしょうか。生徒会役員のみなんさん準備ありがとうございました。

〈生徒会対面式・説明会での新入生代表あいさつより 4月7日（水）〉



生徒会のみなさん、今日は私たちのためにいろいろな準備をしてくださり、ありがとうございました。とても大変だったと思います。入学式で歌ってくださった校歌はとても素晴らしかったです。私たちもみなさんのように歌えるように、がんばりたいと思います。

私たち十三名は、一人一人が目標を持っています。しかし、まだ至らない部分がたくさんあります。先輩方、そんな私たちを指導し、支えていただければと思います。

生徒会活動は、小学校以上に、中学校は自分で考えて行動することが必要だと思います。私も、人の後ろについていくのではなく、自分から前に進んでいきたいです。頑張れば頑張った分だけ、自分も学校もよくなると思います。

難しいこともあるかもしれませんが、先輩方に教えてもらいながら頑張っていき、終わったときに「やって良かった」という達成感を味わえるように、一つ一つを丁寧に確実に行っていきたいです。

私たちは、小学校では最上学年でしたが、中学校では一番下の学年です。分からないこともたくさんあります。でも、小川中学校には、優しく頼れる先輩方がたくさんいます。自分一人で抱え込むのではなく、先輩方や先生方に相談しながら、頑張っていこうと思います。

不安もありますが、楽しみなこともたくさんあります。自分の持てる力をしっかりと発揮し、充実した中学校生活を送れるように努力しますので、先輩方、これからよろしくお祈りします。

職員組織紹介

学校長 山崎 伸一
 教 頭 小林 浩一
 教務主任 森本 勲 副教務主任 山崎 俊二
 学年・学級担任

学 年	氏 名
1 学年	山崎 俊二 伊藤衣里菜 (山口 紀子)
2 学年	小木曾聖華 森本 勲
3 学年	宮下 由美 黒岩 正章 (黒沢 美鈴)
4 組	山口紀子

研究主任	宮下 由美	A L T	アン・ラトリッジ
特別支援教育コーディネーター	山口 紀子	校務手	和田 久憲
生徒指導主事	山崎 俊二	スクールカウンセラー	丸山 歌織
進路指導主事	黒岩 正章	学校司書	太田 咲里
保健主事	小木曾聖華	学校医 (内科)	小出 眞
人権教育推進教員	伊藤衣里菜	(眼科)	小谷 幸雄
養護教諭	黒沢 美鈴	学校歯科医	高橋 優彰
主幹	田巻 一己	学校薬剤師	金川 和之
技術 (兼務)	山上 道夫		

このメンバーで本年度お世話になります。よろしくお願いたします。